

令和6年度 第3回 京都大学防災研究所自然災害研究協議会 議事録

日時：令和7年3月19日（水）10時00分～11時27分

場所：ZoomによるWEB会議

出席者：1号委員 大湊、河島、滝口、池田【議長】、奥村

2号委員 菊地、今村、内村、野田、藤本、鈴木、山城

3号委員 加藤、王、梶川、小林、杉浦

4号委員 大倉

5号委員 平野

6号委員 柴山、廣井

欠席 蔭、山口、角、宮本、塚原、畑山

未参加 堀、境、大慈弥、久利、前田

陪席 河津、中野

(敬称略、委員名簿順)

配付資料：

資料1 京都大学防災研究所 自然災害研究協議会 委員名簿

資料2 令和6年度 第2回 京都大学防災研究所自然災害研究協議会議事録（案）

資料3 本部・各地区部会の活動報告

3-1 本部、3-2 北海道地区、3-3 東北地区、3-4 関東地区、3-5 中部地区、3-6 近畿地区、3-7 中国地区、3-8 四国地区、3-9 西部地区

資料4 令和6年度予算執行状況

資料5 令和7年度京都大学防災研究所自然災害研究協議会委員名簿（案）

資料6 中部地区部会・地区割の変更・について（メモ）

資料7 東大地震研・京大防災研 拠点間連携共同研究委員会 2号委員

資料8 第62回自然災害科学総合シンポジウム プログラム（仮）

（参考） 京都大学防災研究所自然災害研究協議会規程

京都大学防災研究所自然災害研究協議会申合せ

議事に先立ち、堀京都大学防災研究所長から挨拶があった。続いて、大慈弥文部科学省研究開発局 地震火山防災研究課 防災科学技術調整官及び久利文部科学省研究開発局 地震火山防災研究課測地学専門官から挨拶があった。

前回議事録の確認

令和6年10月2日開催分の令和6年度第2回京都大学防災研究所自然災害研究協議会の議事録（案）について、確認のうえ、原案どおり承認された。

議 事：

1. (報告)令和6年度の本部の活動

資料3-1に基づき、本部より令和6年度の活動について報告があった。報告要旨は以下のとおり。

- ・ 本部：第61回自然災害科学総合シンポジウム、(共催)河川災害に関するシンポジウム(主催：土木学会水工学委員会)、(後援)防犯防災総合展2024、科研費(特別研究促進費)・突発災害調査の実施、自然災害研究協議会による突発災害(初動調査、継続的調査等)調査研究サポート、データベース SAIGAI の充実、国際展開調査

2. (報告)令和6年度の各地区部会の活動及び予算執行状況

資料3-2乃至3-9に基づき、各地区部会より令和6年度の各地区部会の活動及び予算執行状況について報告があった。報告要旨は以下のとおり。

- ・ 北海道地区：第1回幹事会、令和6年度総会、特別講演会、地区フォーラム、「北海道地区自然災害科学資料センター報告37号」ホームページ掲載、北海道地区自然災害科学資料センターホームページを随時更新中、予算執行状況
- ・ 東北地区：東北地域災害科学研究集会および東北地区部会総会の開催、研究論文集、ウェブページの管理運営、メーリングリスト(東北地区部会員名簿)の管理運営、東北地区自然災害資料センターの管理運営、予算執行状況
- ・ 関東地区：災害×ダイバーシティセミナー、災害×ダイバーシティセミナー、見学会、防災DX研究会セミナー、ワークショップ、災害×ダイバーシティセミナー、予算執行状況
- ・ 中部地区：げんさい楽座のスパアウト企画の開催等、第12回減災連携研究センターシンポジウム、「三重大学・防災アカデミー」の開催、避難所開設訓練、自然災害科学中部地区研究集会の開催、予算執行状況
- ・ 近畿地区：近畿地区部会メンバー名簿更新、近畿地区部会幹事会の開催、防災関連研究集会の共催、ホームページの内容更新、予算執行状況
- ・ 中国地区：(1)昨年度リニューアルしたホームページで研究発表会や研究論文集について会員他へ情報提供を行った。(2)令和6年度自然災害研究協議会中国地区部会研究発表会を令和7年2月22日にオンラインで実施した。(3)自然災害研究協議会中国地区部会研究論文集(第11号)の発行を行った。ホームページに掲載

している電子版（PDF）が正式なものであるが、希望者には制本版を配布した。(4) 部会員が災害現場調査を行うにあたり消耗品を支援した。また令和 6 年能登半島地震の災害現場調査の旅費を支援した。(5) 中国地方在住の研究者同士の研究協力が行われ、研究発表会で成果が報告された。(6) 研究発表会を山口大学地域レジリエンス研究センターが共催したことで、中国地方以外の全国各地から多くの参加者を得ることができた。予算執行状況

- ・ 四国地区：突発災害調査又は過去の被災地復興調査、令和 6 年度自然災害フォーラム&第 19 回南海地震四国地域学術シンポジウムの合同開催、四国地区部会の開催、予算執行状況
- ・ 西部地区：令和 6 年度自然災害研究協議会西部地区部会研究発表会の開催、令和 6 年度自然災害研究協議会西部地区部会報（49 号）の発行、西部地区部会メンバーリストの管理・更新、予算の執行状況

3. (報告)令和 6 年度の本部の予算執行状況

王委員より、資料 4 に基づき報告があった。

4. (報告)令和 7 年度の委員について

池田議長より、資料 5 に基づき報告があった。

5. (審議) 来年度の議長空白期間（第 1 回開催まで）の議長代行について

池田議長より説明があり、審議の結果、1 号委員の大湊委員が議長代行となった。

6. (審議) 中部地区部会（地区割の変更）：山梨県の関東地区部会への異動（地区割の変更）について

池田議長及び野田委員より、資料 6 に基づき説明があり、意見交換の結果、来年度から異動することについて、承認された。合わせて、京都大学防災研究所自然災害研究協議会申合せの改正が必要であることも確認された。

主な意見は以下のとおり

- ・ 将来、中部地区と関東地区にまたがる富士山の活動があった際の連携については、意見交換が必要ではないか？→ 富士山の活動はきわめて広い地域に影響を及ぼすと推測され、当然ながら協議会の中で連携していく必要がある。

7. (審議) 連絡ネットワークの構築について
池田議長より説明があり、各地区部会の名簿を整理することとなった。作成の参考のため、本部地区から、作成範囲などの基準と併せて、サンプルを送付することとなった。

8. (審議)令和 7 年度東大地震研・京大防災研拠点間連携共同研究委員会委員について
池田議長より、資料 7 に基づき説明があり、承認された。

9. (審議)令和 7 年度第 62 回自然災害科学総合シンポジウムの開催案について
池田議長より、資料 8 に基づき説明があり、承認された。次回は京都大学宇治キャンパス内の施設で開催する年に当たり、施設の空き状況（候補日）を調べて、次年度第 1 回に開催日を議論できるようにする。

10. その他
なし